

キンダーブック2 6月号



表紙の
絵から

暗い森のなかで道に迷ってしまった鳥さんたち。そこへほたるさんがやってきて、地図を明るく照らすお手伝いをしてくれました。光の道ができあがって幻想的な森の景色になっています。「鳥さんとほたるさんはどんな話をしているのかな？」など想像しながら見るとさらに楽しめます。

あめが ふってきた

ねらい 雨の降るしくみを知り、雨のたいせつさに気づきましょう。



「雨ってどうして降ると思う?」「降ったらどうなると思う?」などと問いかけてみましょう。考える時間を作り子どもたちの自由な発想や答えを楽しみながら雨についての話題を広げられるとよいですね。

生活のなかで必要な水について話してみましょう。絵本で取り上げられている以外に、どんなときに水をつかうか、その水がなければどうなるかを考えてみましょう。



大きく、または小さくジャンプするなど、雨の降り方をからだで表現してみるのもおもしろそうです。実際の雨の日には缶やバケツに落ちる音の違いを聞くのも楽しいですね。



いやなとき、なんと いう?



ねらい 相手に思いを伝えることのたいせつさを知りましょう。

つかい方のポイント ふだんから思いを伝えやすい雰囲気作りをすることがたいせつですね。ことばで伝えるのが苦手な子には、保育者が代わって伝えたり、手紙を渡したりするなど、ほかにも方法があることも知らせましょう。

ながもちする たべもの



ねらい 長持ちさせる工夫をした食べ物を知りましょう。

つかい方のポイント 給食やお弁当のときに保存食が入っているか調べて、発表し合ってみてもよいですね。いつも口にしていない食べ物に長持ちする工夫がされていたことを知り、食への興味の幅を広げましょう。

「キンダーブック2」を 保育にご活用ください!

絵本をつかった指導計画の文例



カレンダーがついた行事コーナーの誌面がダウンロードできます!

<https://kinderbook.roebel-kan.co.jp/DL/kb2/>



コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域	10の姿
かんざつ 「あめがふってきた」	<ul style="list-style-type: none"> ● 雨の降り方の違いを知り、表現遊びに展開する。 ● 雨の日に、五感をつかって雨を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 雨の降り方にはいろいろな種類があることを伝え、図鑑や動画など実際に見られる物を用意する。絵の具で雨粒を描いたり、からだを動かしたりして自由に表現遊びを楽しむ。 ● 直接雨にふれ、感触、におい、音など、五感をつかって子どもたちが感じたことを自由に発表してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境 言葉 表現 	<ul style="list-style-type: none"> ● 豊かな感性と表現 ● 自然との関わり ● 生命尊重
せいりか 「いやなとき、なんと いう?」	<ul style="list-style-type: none"> ● 嫌だという気持ちを相手に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 友だちとの関わりのなかでさまざまな経験を味わえるようにする。また、その経験をクラスのみんなで共有できるような環境を設定する。 ● ことばで伝えるのが苦手な子には、ほかの方法を考えて伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉 人間関係 表現 	<ul style="list-style-type: none"> ● 道徳性・規範意識の芽生え ● 思考力の芽生え ● 言葉による伝え合い